

1 フレッシュキッズバスケットボール教室運営対応策

フレッシュキッズバスケットボール教室を運営するにあたって、以下の観点で感染防止に努める。

①会場内への入場について

- ・朝、自宅での検温を必須とし、37.5度以上の方は来場しないことを徹底する。
- ・会場入り口に消毒液を設置し、入場者に手指の消毒をお願いする。
- ・入場の際にはマスクの着用を必須とする。
- ・外靴はビニール袋に入れ各自管理する。

②会場設営について

- ・会場内の扉・窓等はでき得る限り開放し、密閉を避ける。
- ・会場入り口、会場内、トイレ各所にアルコール消毒液を設置する。

③会場内での過ごし方について

- ・バスケットボール教室の活動中以外は、マスクの着用を行う。
- ・人と人との間隔を空け、密集密着を避ける。
- ・手指の消毒をこまめに行う。
- ・トイレ後の手洗いは30秒以上、アルコールでの消毒も行う。
- ・使用する体育施設のごみ箱は使用しない。

④教室について

- ・参加者、講師、スタッフは、教室の前後で手指の消毒（ボールの共有等の為）を行う。
- ・教室の合間、スタッフがボール等の共有物の消毒・除菌を行う。

⑤その他

- ・教室終了後、会場内（多数の参加者が多く触れるドアノブ、取手等）の消毒を行う。
- ・各家庭、最小限の入場に協力する。
- ・万が一会場で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、保健所等の行政機関による聞き取り調査等にご協力いただく場合があるため、受付で保護者の責任のもと、氏名・体温・住所・連絡先をU12委員会で準備するシート（別紙）に記入の上、運営担当者に提出する。※同伴の保護者も記入すること。

2 参加する皆さんへ

参加する皆さんは、以下の項目を保護者の方の責任において遵守する。

- ①前日・当日の朝、自宅での検温を行う。
- ②教室の活動以外はマスク着用をする。
- ③十分な距離の確保を心がける。
- ④体調管理の徹底をする。

→熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しないこと。また、保護者の方も十分チェックを行うこと。教室前、以下の項目に当てはまる方は参加をしないこと。

- (1)平熱を超える発熱
 - (2)咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - (3)だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (4)嗅覚、味覚の異常
 - (5)体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
 - (6)同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる
 - (7)過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤こまめな手洗い・アルコール等による手指の消毒をする。

3 保護者の皆様へ

- ①前日・当日の朝、自宅での検温を行う。
- ②こまめな手洗い・アルコール等による手指の消毒をする。
- ③各家庭、最小限の入場への協力をする。
- ④別紙、健康管理シートへ参加者とともに保護者も記入する。